

アライグマ問題を考えるシンポジウム

ヨーロッパと亀岡市

近年、アライグマの増加が顕著となり、京都府全域に広がりを見せています。アライグマの被害にいち早く気づいた亀岡市では、行政・市民との協力のもと、2007年から、徹底したアライグマ対策を開始しました。アライグマはどんな動物か、同じように外来アライグマが侵入しはじめているポーランドから専門家をお招きしました。ポーランドではアライグマに発信器をつけて、行動や生活範囲を調査しています。アライグマ対策に参考になるお話がたくさん聞けそうです。また、アライグマ対策が日本でも最も進んでいる亀岡市がどのような戦いを展開しているか、亀岡市のアライグマの社寺侵入の現状や繁殖状況、効果的な捕獲作戦など、様々な話題を予定しています。

日時：6月26日（土） 13:00-17:00

場所：亀岡会館

京都府亀岡市内丸町1-18（電話0771-23-1134）

お問い合わせ先：参加費無料。お申し込み無しで参加いただけます。定員500名

お問い合わせは関西野生生物研究所（川道）075-551-3936

Eメール Kshimarisu@live.jp

主催：関西野生生物研究所

共催：生物多様性JAPAN

後援：亀岡市、IUCN（世界自然保護連合）日本プロジェクトオフィス

プログラム

開会にあたって 13:00-13:15

来賓挨拶：桂川 たかひろ氏（京都府府会議員・京都創生フォーラム）

木下 直己氏（京都府文化環境部自然環境保全課）

第1部 招待講演 13:15-14:30

「ヨーロッパで拡大するアライグマ：その生態と拡大実態」逐語訳通訳付

Henryk Okarma 氏 (Polish Academy of Sciences,

Institute of Nature Conservation,)



休憩 14:30-14:40

第2部 亀岡市のアライグマの現状とその対策 14:40-17:00（講演各30分）

講演1. 「アライグマの侵入—亀岡市の社寺に何が起きているか」

川道 美枝子氏（関西野生生物研究所 代表）

講演2. 「アライグマ対策の現場—亀岡市の戦い」

鈴木 浩氏（亀岡市経済部農林整備課）

川勝 洋太氏（ ）

阿部 範成氏（ ）

講演3. 「亀岡市におけるアライグマの繁殖—出産時期、妊娠率、産子数」

加藤 卓也氏（日本獣医生命科学大学）

講演4. 「アライグマ対策効果の評価について」

金田 正人氏（関西野生生物研究所 客員研究員）

閉会の挨拶 関西野生生物研究所

*本シンポジウムは平成22年度公益信託日本経団連自然保護基金の助成を受けて開催されます。

*この資料集に収録された資料の一部は、平成17年度、18年度、19年度京都府生物多様性保全推進事業助成金と平成20年度、21年度京都府地域力再生プロジェクト支援事業交付金を受けてまとめられたものです。